

も似たる事あるなり、胡地の俗しかりと見えけり、

〔和漢三才圖會八十三〕木欒子 欒華 和名無久禮邇之 俗云無久呂之略中

按木欒子無患子之類異種 別有菩提樹者、葉似椋、又似桑葉而厚、面深翠背淺青、三四月將花、時別出莖、生新

葉、以蔽其莖、黃青色、微似菠蔞草葉、抽於其半腹、莖稍開、花四五朵、黃色而小、甚香、芬花散結實、中子如

豌豆、成簇一房二十粒許、淡黑色、用爲數珠、蓋葉與子之様大奇、

〔重修本草綱目啓蒙二十四〕欒華 喬木 センダン葉ノボダイジユノハナ 木名 ムクレンシノキ和名

鈔 センダンノ葉ノボダイジユ ドジャウキ 丹波 樹一名欒木 通雅 欒樹 正字 木欒樹

救荒本草

ボダイジユ同名アリ、コノ木ハ葉形セシヤク棟葉ニ似テ大ナル故、センダン葉ノボダイジユト呼ブ、漢名

ニ菩提樹ト云者ハ、葉ノ形桑葉ニ似タリ、別物ナリ、欒樹ハ世ニモクゲンジト呼テ、河州道明寺ノ

名産ナリ、然レドモモクゲンジハ、木櫨子ノ轉音ナレバ、此木ニ名クルハ非ナリ、道明寺ハ河内國

志紀郡ニアリ、三十四代垂推誤 古天皇ノ勅願ニテ、聖德太子ノ開基ト云、其土地ヲ土師里ハジト云、土

師ノ連八島ト云人ニ命ジテ此寺ヲ建立セラル、コノ時ニ五部ノ大乘經ヲ埋メタル上ニ、欒樹自

然ニ生ズルト縁起ニ云リ、コノ種ヲ諸國ノ寺ニ栽タル者多シ、今ハ丹波ノ山中ニ自生アリ、春新

葉ヲ生ズ、棟葉ヨリ大ニシテ毛アリ、夏枝梢ニ穗ヲナシ、枝ヲ分テ花ヲ開ク、五瓣下ノ一方ニ偏ヨ

リ開キ、半邊蓮花ニ似テ大ナリ、黄色ニシテ心ハ紅色ナリ、後實ヲ結ブ、酸漿鈴子ニ似テ、微小ニシ

テ扁シ、秋ニ至リ熟スレバ皮自ラ開キ、内ニ二三子アリ、形正圓ニシテ大サ二分餘、色黒シテ至テ

堅シ、穴ヲ穿チ數殊ニ作ル、又子ヲ下シテ生ジ易シ、霜後葉枯レ落ツ、藥ニハ花ヲ用ユ、故ニ此ニハ

欒華ト云

〔重修本草綱目啓蒙二十三〕荔枝 通名 リチアン 唐音 リツイ 南京 リチイ 共同上 一名甘

荔枝